



奥行たっぷりの 2300mm で大きな日影 !! 新デザインの X フレーム採用 ! 自信作です !!



2人 2h

S-9310 チームシェルター X

¥440,000 (税込) 別

● 幅 410cm × 奥行 230cm × 前方高さ 210cm × 後方高さ 170cm ● 重量 120kg ● 枠 48.6mm スチール丸パイプ (焼付塗装) ● 150mm キャスターストップ付 ● 防災防水シート ● クイ 6 本付 ● 組立式
※使用時は、付属の杭で固定してください。

既存のベンチに気軽に日除けを ! 熱中症対策製品の普及を目指した日除けシェルター !



移動式



定置式

S-9318 シェルター移動式

¥264,000 (税込) 別

● 幅 410cm × 奥行 110cm × 前方高さ 189cm × 後方高さ 171cm ● 重量 75kg ● 枠 48.6mm スチール丸パイプ (焼付塗装) ● 130mm キャスターストップ付 ● 防災防水シート ● クイ 6 本付 ● 組立式
※使用時は、付属の杭で固定してください。

S-9319 シェルター定置式

¥242,000 (税込) 別

● 幅 410cm × 奥行 110cm × 前方高さ 189cm × 後方高さ 171cm ● 重量 72kg ● 枠 48.6mm スチール丸パイプ (焼付塗装) ● 防災防水シート ● クイ 6 本付 ● 組立式
※使用時は、付属の杭で固定してください。

熱中症対策ガイドライン 公益財団法人 日本サッカー協会 (2016年3月10日発行文書 : 参考引用)

※詳細や対応方法に関しては、各自治体のサッカー協会等にお問合せください。

大会/試合スケジュールの規制 (事前の準備)

大会/試合を開催しようとする期間の各会場 (都市) における、過去5年間の時間毎のWBGTの平均値を算出し、その数値によって大会/試合スケジュールを設定する。必要に応じて、試合時間を調整して早朝や夜間に試合を行う、ピッチ数を増やす、大会期間を長くするなどの対策を講じる

JFA熱中症対策

A

① ベンチを含む十分なスペースにテント等を設置し、日射を遮る。

※全選手/スタッフが同時に入り、かつ氷や飲料等を置けるスペース。

※スタジアム等に備え付けの屋根が透明のベンチは、日射を遮れず風通しも悪いので使用不可。

② ベンチ内でスポーツドリンクが飲める環境を整える。

※天然芝等の上でも、養生やバケツの設置等の対策を講じてスタジアム管理者の了解を得る。

③ 各会場にWBGT計を備える。

④ 審判員や運営スタッフ用、緊急対応用に、氷・スポーツドリンク・経口補水液を十分に準備する。

⑤ 観戦者のために、飲料を購入できる環境 (売店や自販機) を整える。

⑥ 熱中症対応が可能な救急病院を準備する。特に夜間は宿直医による対応の可否を確認する。

⑦ [Cooling Break] または飲水タイムの準備をする。

B

⑧ 屋根の無い人工芝ピッチは原則として使用しない。

⑨ 会場に医師、看護師、BLS (一次救命処置) 資格保持者のいずれかを常駐させる。

⑩ クーラーがあるロッカールーム、医務室が設備された施設で試合を行う。



熱中症指標計は

P150 へ! >>>

その他、施工製品等の詳細は

P153 へ! >>>